

关于促进中日韩旅游交流与合作的北海道宣言

中日韩三国旅游部长于2006年7月2日在日本北海道阿寒町举行了第一次三国旅游部长会议，同时，来自三国的官方和民间旅游界代表访问了日本有代表性的旅游胜地北海道阿寒、知床、旭川、层云霞、富良野、札幌等地。

我们在各地亲身感受旅游资源魅力的同时，也感受到了当地人民的热情好客。我们确信北海道各地旅游发展蕴藏着极大的潜力，也再次认识到当地人民的热诚对旅游业发展的重要性。我们对当地为举办本次会议和相关活动所做出的努力与热情款待表示感谢。

为了进一步加强三国旅游交流与合作，扩大人员往来，促进地区经济的繁荣和社会的发展，我们就三国共同关心的问题进行了广泛讨论。

我们将本着友好的精神和协调一致的原则，加强合作、增进友好，创造良好的环境，为地区和世界旅游业的发展做出贡献。

我们经过深入讨论达成以下共识，以此作为今后三国旅游交流与合作的基本框架。

我们一致认为，旅游不仅造福于当地社会，同时作为和平的使者、友谊的桥梁，在促进不同国家、不同民族、不同文化的人民之间的相互理解和友好交流方面，在促进国家与地区经济发展方面，在对人类自然和文化遗产的保护与开发利用方面，在对社会的可持续发展等诸多方面，都具有重要意义。

我们认为，三国比邻而居，不仅在历史文化等诸多方面有着相通的地方，而且近年来三国在经济等各领域的交流也在不断扩大。三国加强各领域的合作，对东亚地区的和平、稳定与繁荣有着极其重要的意义。

我们认为，三国国民之间的相互了解和理解非常重要。通过加强三国面向未来的合作，扩大三国人员交流，增进三国国民之间的相互了解和理解和友好，是赋予我们三国旅游行政部门的责任和义务。

我们确信，通过加强三国在旅游和文化、教育、人才、体育、友好城市等方面的交流，加强地方自治体或地方政府之间在各领域的交流与合作，对增进三国间的人员往来，促进三国间发展实质性关系非常有益。

我们鼓励旅游业界的交流与合作，愿为对方国家到本国促销、开拓市场提供便利。

我们将通过努力，推动各自政府为海外游客到本国访问提供出入境便利。

我们同意加强旅游信息交流、旅游教育培训等方面的交流与合作。

我们注意到，三国作为全球旅游发展最具潜力的地区，通过加强旅游领域的合作，扩大吸引三

国以外的游客到本地区旅游，以及三国之间加强人员的交流至关重要。

我们鼓励三国国民到三国以外旅游，同时也欢迎其他国家和地区的游客到三国旅游。

我们将为来自三国以外的游客提供优质服务，同时在三国开展诚信旅游。

我们就三国共同面临的制约旅游交流的因素，以及三国扩大旅游交流的举措交换了意见，确信相互协助，共同探讨改善措施，对三国发展旅游业非常有效。

鉴此，我们将齐心协力，在“中日韩旅游交流计划”（附件另发）的名义下，认真做好以下工作。

1. 三国通过开展旅游联合宣传促销、开发旅游产品等形式，扩大区域外游客到三国旅游。
2. 减少三国间及与其他国家和地区之间扩大旅游交流的不利因素，探讨进一步扩大旅游交流的方法和渠道。
3. 为促进三国间的旅游交流与合作，共享成果，建立并加强多边和地区合作机制。
4. 促进三国间以教育旅行为主要形式的青少年交流、文化体育交流、友好城市交流以及其他形式的地方自治体或地方政府之间的合作等多种形式的旅游交流。

我们通过“中日韩旅游交流”计划，力争将三国间的旅游交流规模由2005年的1200万人次扩大到2010年的1700万人次以上。我们将根据交流情况适时调整目标。

作为三国旅游交流与合作的重要内容，中日韩旅游部长会议将于每年夏天轮流在各国召开。三国旅游行政部门将利用定期召开的“10+3”旅游部长会议之机，协商中日韩旅游部长会议事宜。

本宣言于2006年7月2日在日本国北海道钏路市阿寒町用中、日、韩文签署，同等作准。

邵琪伟

中华人民共和国国家旅游局局长

北侧一雄

日本国土交通大臣观光立国担当大臣

金明坤

大韩民国文化观光部长官

日中韓三国間の観光交流と協力の強化に関する北海道宣言

1. 我々、日本国、中華人民共和国及び大韓民国の観光大臣は、2006年7月、記念すべき第1回日中韓観光大臣会合の機会に、それぞれの国の官民の観光関係者の代表とともに日本国の北海道を訪れ、阿寒、知床、旭川、層雲峡、富良野、札幌といった日本国を代表する観光地を実地に視察する機会に恵まれた。
2. 我々は、これらの地域の有する観光資源の魅力を実感するとともに、地域の人々の熱烈な歓迎を受け、これらの地域の観光地としてのさらなる成長の可能性を確信し、あわせて人々のホスピタリティが観光に果たす役割の重要性について改めて認識した。我々は、ここに、今回の一連の行事に対する地元における周到な準備と心からの歓待に感謝の意を表す。
3. 我々は、三国間の観光交流と協力を一層強化し、三国間の人的交流を拡大し、地域の経済の繁栄と社会の発展を促進するため、2006年7月2日に北海道釧路市阿寒町で第1回日中韓観光大臣会合を開催した。会合では、観光の発展において三国が関心を寄せる問題について広範な議論が行われた。
4. 我々は、友好的な精神と協議一致の原則に則り、相互の文化と伝統を尊重しつつ、重要なパートナーとして協力を強化し、友好を増進し、良好な環境を作り出し、地域及び世界の観光発展のために貢献したいと考えている。
5. 我々は、21世紀における東アジア大交流時代の到来にあたり、深い議論を経て、以下に掲げる共通の認識をとりまとめ、これを今後の三国の観光交流と協力の基本的枠組みとすることとした。
6. 我々は、観光が人々に幸福をもたらすのみならず、平和の使者、友好の懸け橋として国際相互理解と国際友好親善を増進し、観光客を受け入れる国と地域に経済的利益をもたらし、国民の間の交流を強化し、人類の文化遺産の発展・活用と維持に貢献し、持続可能な社会の発展の要素となるといった多面的な意義を有するとの認識で一致した。
7. 我々は、三国が地理的に近接し、歴史・文化に多くの共通点を有しているのみならず、近年、三国の間で経済をはじめとする各分野における結びつきが急速に強まっており、三国間関係をあらゆる面で一層強化していくことが東アジア

ア全体の平和、安定及び繁栄に重要であるとの認識を共有する。

8. よって、我々は、三国の国民の間の相互理解の促進がますます重要となっており、三国の観光分野における未来志向の協力の強化を通じ、三国の国民の間の相互理解及び友好を増進し、三国間の人的交流を拡大していくことが、三国の観光行政の責任者である我々に課せられた責務であると考えます。
9. 我々は、文化、教育・人材育成・研究、スポーツ、姉妹・友好都市提携を始めとする地方自治体間の協力といった様々な分野における三国間の交流や協力と、観光分野における三国間の交流や協力の取組みが連携して行われることが、三国間の人的交流の増加と三国間関係の着実な発展のために有益であることを確信する。
10. 我々は、業界間の交流と協力を奨励し、相手側の国が自国を訪れて市場開拓及び販売促進を行うことに対し便宜を提供する。
11. 我々は、それぞれの政府が、海外観光客の出入国等に関する便宜の提供を推進するよう尽力する。
12. 我々は、観光情報、観光教育訓練等の面において交流と協力を強化することに同意する。
13. 我々は、三国が世界の中で最も活発な観光交流の拡大が見込まれるアジア太平洋地域の中核であり、三国の観光分野における協力の強化を通じ、三国外と三国との間の人的交流を拡大することが重要であるとの認識を共有する。
14. 我々は、三国の国民が三国外に観光に出掛けることを奨励し、またその他の国の観光客が三国に観光を訪れることを歓迎する。
15. 我々は、三国外から訪れる観光客に対して、質的に優れたサービスを提供するとともに、三国内においてまごころある観光サービスを展開する。
16. 我々は、観光交流を拡大する上で三国がそれぞれ抱える制約要因や、さらなる交流拡大のための方策について持続的に対話し、意見を交換し、協力して検討や改善を図っていくことが、三国の観光の発展のために有効であることを

確信する。

17. 以上を踏まえ、我々は、協力して、「日中韓観光ビッグバン（日中韓域内外観光交流拡大計画）」の名の下に、以下の分野に特に精力的に取り組むこととした。「日中韓観光ビッグバン」の当面の取組みは別紙のとおりとする。

- (1) 三国間又は三国外と三国との間の観光交流拡大の制約要因の改善と、さらなる交流拡大方策の検討についての相互協力。
- (2) 三国の連携した観光協力の取組みを促進し、及びその成果を共有するための、多国間協力や地域協力の枠組みの一層の活用。
- (3) 教育旅行を始めとする青少年交流、文化・スポーツ交流、観光研究分野における協力、姉妹・友好都市提携やその他の方法による地方自治体間の協力の活用、観光資源の開発に係る協力など、さまざまな手法による三国間の観光交流の拡大。
- (4) 三国共同での観光宣伝や旅行商品の造成など、三国外から三国への観光の拡大を図るための共同の取組み。

18. 我々は、「日中韓観光ビッグバン」を通じ、三国間の国際観光交流の規模を、2005年の約1200万人から、2010年に1700万人以上に増加させることを目標とする。この目標は、交流の状況を踏まえて適宜見直されるものとする。

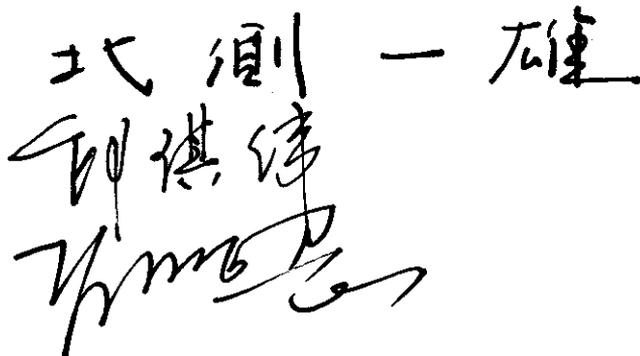
19. 我々は、三国の連携した取組みの一環として、日中韓観光大臣会合を毎年夏に三国の持ち回りで開催する。三国の観光当局は、定期的で開催されるASEAN+3観光大臣会合の機会に、日中韓観光大臣会合の準備のため、協議を行う。

2006年7月2日、日本国北海道釧路市阿寒町において、等しく正文である日本語、中国語及び韓国語で各一通署名した。

日本国国土交通大臣・観光立国担当大臣

中華人民共和国国家旅游局長

大韓民国文化観光部長官



北 洞 一 石 雄
胡 琪 偉
李 相 忠

「日中韓観光ビッグバン」における当面の取組み

1. 三国は、三国間又は三国外と三国との間の観光交流拡大の制約要因の改善と、さらなる交流拡大方策の検討についての相互協力を促進する。

(1) 三国は、三国がそれぞれ抱える三国間又は三国外と三国との間の観光交流を拡大する上での制約要因を相互に点検し、セキュリティ・アメニティの確保、観光資源の保護、人材確保、航空路線網の拡充、査証等といったさらなる交流拡大のためにとりうる方策について、次回以降の日中韓観光大臣会合などの場において相互に意見を交換し、協力して検討や改善を図る。

(2) 三国は、三国外及び三国からの観光客に良質なサービスを提供するための方策を検討するため、実質的な協力を強化する。

<具体的取組み>

・日中韓観光フォーラム（2006年12月 韓国・済州）

2. 三国は、三国の連携した観光協力の取組みを促進し、及びその成果を共有するため、多国間協力や地域協力の枠組みの一層の活用を推進する。

三国は、世界観光機関（UNWTO）、ASEAN+3、アジア太平洋経済協力（APEC）といった多国間協力や地域協力の枠組みを一層活用し、教育旅行を始めとする青少年交流、文化・スポーツ交流、観光研究分野における交流、姉妹・友好都市提携やその他の方法による地方自治体間の協力の活用、観光資源の開発に係る協力など、三国の連携した観光協力の取組みの重要性と成果を他国にも積極的に訴える。

<具体的取組み>

・2006年5月に日本・静岡で開催された第28回APEC観光作業部会の成果である「青少年交流・姉妹都市交流についてのAPEC静岡声明」を踏まえ、2006年10月にベトナム・ホイアンで開催される第4回APEC観光大臣会合の場において、青少年交流及び姉妹・友好都市交流の促進についてAPECメンバーの合意を得るよう努める。

3. 三国は、教育旅行を始めとする青少年交流、文化・スポーツ交流、観光研究分野における協力、姉妹・友好都市提携やその他の方法による地方自治体間の協力の活用、観光資源の開発に係る協力など、さまざまな手法による三国間の観光交流の拡大を図る。

このため、特に以下の点について、具体的な取組みを推進する。なお、三国が推進する具体的な取組みは、以下に限られるものではない。

(1) 三国は、教育旅行を始めとする青少年交流、文化・スポーツ交流、姉妹・友好都市提携やその他の方法による地方自治体間の協力を活用した観光交流の促進に取り組む。

<具体的取組み>

- ・ 姉妹友好都市交流シンポジウム（2006年7月 日本・旭川）
- ・ 文化エキスポ（2006年7月～2007年3月 韓国・済州）
- ・ 日中韓伝統芸能イベント（2006年9月 日本・札幌）
- ・ 日中韓観光交流拡大四国フォーラム（2006年11月 日本・四国）
- ・ 日中韓青少年修学旅行シンポジウム（2006年12月 中国・江蘇省）
- ・ 姉妹都市交流活性化シンポジウム（2006年後半 韓国・ソウル）
- ・ ソウル国際マンガ・アニメフェスティバル（2007年5月 韓国・ソウル）
- ・ 中国山東世界友好都市観光大会（2007年10月 中国・済南）

(2) 三国は、三国内の他の二国を周遊する旅行商品の造成に取り組む。域内クルーズ観光の活性化のために、定期的にクルーズに関する情報交換、政策の調整、共同マーケティングの方策等を協議する。

<具体的取組み>

- ・ 長崎、上海、済州を周遊するクルーズ（2006年7月運航開始）を活用した観光交流拡大

(3) 三国は、三国間の観光交流拡大を図るためのイベントを開催するとともに、大規模なスポーツイベント、博覧会等に積極的に誘客を図る。三国は各国で開催される重要な観光イベントに積極的に参加し、開催国は相手国の参加者を歓迎する。

<具体的取組み>

- ・ アジア観光ビッグバン・カウントダウンイベント（2006年8月 日本・大阪）

- ・中国国際旅游交易会（CITM）における日中韓大規模ビジネスフォーラム（2006年11月 中国・上海）
- ・世界青少年サッカー選手権大会（2007年5月 韓国・ソウルほか）
- ・世界陸上選手権大会（2007年8月 日本・大阪）
- ・北京オリンピック（2008年 中国・北京）
- ・上海万博（2010年 中国・上海）

(4) 三国は、三国内の観光資源の開発を促進するため、三国の観光開発に関する情報交換、投資説明会の開催と出席等、観光分野における相互の直接投資の拡大について協力する。

<具体的取組み>

- ・国際観光投資説明会及びフォーラム（2006年11月 韓国・ソウル）

4. 三国は、三国共同での観光宣伝や旅行商品の造成など、三国外から三国への観光の拡大を図るための共同の取組みを促進する。

このため、特に以下の点について、具体的な取組みを推進する。

- (1) 三国は、三国外における旅行博覧会において三国が連携した展示を行う等、共同観光プロモーションを実施する。
- (2) 三国は、北米等三国外からのクルーズ観光の共同誘致等、三国外から三国ないし二国を訪問・周遊するツアーの造成・販売について協力を進める。
- (3) 三国は、欧米等三国外からのMICE（国際会議、国際文化・スポーツイベント、国際展示会・見本市等）市場の拡大を進める。
- (4) 三国は、共同事業の推進を円滑に行うために、観光情報の交換及び観光教育などの分野で協力を強化する。

<具体的取組み>

- ・アジア欧州会合（ASEM）観光業発展フォーラム（2006年10月 中国・烟台）
- ・クルーズ・コンベンションへの三国共同出展（2007年3月 米国・マイアミ）

한중일 3 국간 관광교류와 협력 강화에 관한 홋카이도 선언

1. 2006 년 7 월 대한민국, 중화인민공화국, 일본국의 관광장관은 제 1 회 한중일 관광장관회담을 계기로 각 국가의 민관 관광 대표와 함께 일본 홋카이도를 방문하여 아칸, 시레토코, 아사히카와, 소운교, 후라노, 삿포로 등의 일본을 대표하는 관광지를 시찰하는 기회를 가졌다.

2. 우리는 이 지역이 보유한 관광자원의 매력과 지역민의 따뜻한 환영을 통하여 관광지로서의 가능성을 확인하였다. 아울러 지역주민의 환대가 관광에 미치는 영향이 매우 크다는 것을 다시 한 번 인식하는 계기가 되었다. 이번 행사를 주최한 관계자 및 지역주민들의 따뜻한 환영에 대해 감사를 표한다.

3. 우리는 한중일 3 국간의 관광 교류 및 협력을 촉진하고 3 국간의 인적 교류를 확대하며 지역의 경제와 사회 발전을 도모하기 위하여 2006 년 7 월 2 일 홋카이도 쿠시로시 아칸정에서 제 1 회 한중일 관광장관 회담을 개최하였다. 회담에서는 관광의 발전을 위한 3 국의 관심사항에 대하여 폭 넓은 의견을 나누었다.

4. 우리는 우호와 협치의 원칙 하에 각국의 문화와 전통을 존중하고 3 국간 협력강화 및 우호 증진을 위한 환경 조성을 통하여 지역 및 세계의 관광발전에 공헌하고자 한다.

5. 우리는 21 세기 동북아시아 시대를 맞이하여 광범위한 토론과 협의를 통해 향후 3 국간의 관광교류와 협력의 기초에 대한 인식을 같이 하였다.

6. 우리는 관광이 사람들에게 행복을 줄 뿐 아니라 평화의 사자, 우호의 가교로서 국제 상호이해를 증진하고, 관광객을 맞이하는 국가와 지역에는 경제적 이익 창출, 국민간의 교류 강화, 인류 문화유산의 보전·활용 및 지속가능한 사회로의 발전 요소가 되는 등의 다면적인 의의를 갖는 것에 인식을 같이 하였다.

7. 우리는 3 국이 지리적으로 인접하고, 역사·문화에 많은 공통점을 가지고 있을 뿐 아니라, 최근 경제를 비롯한 각 분야에 있어서의 연계성이 급속히 강화되고 있음에 따라 3 국간의 관계를 모든 면에서 강화해 나가는 것이야말로 동북아시아의 평화, 안정 및 번영에 중요하다는 점에 인식을 같이 하였다.

8. 따라서, 우리는 한중일 국민간 이해증진의 중요성에 대해 인식을 같이함에 따라 관광분야의 미래지향적인 협력 강화를 통해 3 국 국민간의 상호이해 및 우호를 증진하고 상호간 인적교류를 확대해 나가는 것이 각국의 관광행정 책임자인 우리에게 부과된 의무이자 책임이라고 생각한다.

9. 우리는 문화, 교육·인재육성과 연구협력, 스포츠 교류, 지방자치단체간의 협력과 같은 다양한 분야에서의 3 국간 교류를 관광분야 교류와 연계하는 것이 3 국간의 인적교류 증대와 3 국 관계의 지속적인 발전을 위해 필요하다고 확신한다.

10. 우리는 업계간의 교류와 협력을 장려하고, 상대국이 자국을 방문하여 행하는 시장개척, 판매촉진 등에 대하여 편의를 제공한다.

11. 우리는 각 국가의 정부가 외래관광객의 출입국 등에 관한 편의를 제공하도록 지속적으로 협력한다.

12. 우리는 관광정보, 관광교육 등에 관한 교류와 협력을 강화하는 것에 동의 한다.

13. 우리는 3 국이 세계에서 가장 활발한 관광교류 확대가 예견되는 아시아태평양 지역의 중심지역이며, 한중일 관광 협력강화를 통해 3 국간 그리고 3 국 역외지역 에서 3 국으로의 인적교류를 증대하는 것이 중요하다는 점에 인식을 같이 하였다.

14. 우리는 3 국 국민의 3 국 역외지역으로의 관광을 장려하고, 또한 3 국 역외지역 에서 방문하는 관광객을 환영한다.

15. 우리는 3 국 역외지역에서 방문한 관광객에게 우수하고 정성어린 관광서비스를 제공한다.

16. 우리는 각국의 관광교류를 확대하기 위하여 각국이 안고 있는 제약요인과 교류 확대방안에 대하여 지속적인 대화와 정보교환을 통해 검토·개선해 나가는 것이 3 국 관광발전을 위해 효과적인 방안이라 확신한다.

17. 이상을 기반으로 우리는 『한중일관광빅뱅(한중일 역내외 관광교류 확대 계획)』이라는 제목 하에, 아래의 당면과제를 달성하기 위해 최선을 다할 것을 다짐한다. 『한중일관광빅뱅』의 당면과제는 별지와 같다.

(1) 3 국간 또는 역내외관광시장 확대를 위한 제약요인의 개선과 교류확대방안 검토를 위한 상호 협력

(2) 3 국 연계협력방안 촉진 및 그 성과를 공유하기 위한 다국간 협력과 지역 협력 체제 활용

(3) 교육여행을 비롯한 청소년교류, 문화·스포츠교류, 관광연구협력, 지방자치단체간의 협력, 관광자원개발 관련 협력 등의 다양한 방법에 의한 3 국간의 관광교류 확대

(4) 공동의 역외관광시장 확대를 위한 홍보 및 관광상품 개발 등의 공동사업 추진

18. 우리는 3 국간의 『한중일 관광빅뱅』을 통해 국제관광교류의 규모를 2005 년의 약 1,200 만명에서 2010 년까지 약 1,700 만명 이상으로 증가시키는 것을 목표로 한다. 이 목표는 교류 상황에 따라 재 검토될 수 있다.

19. 우리는 3 국의 연계사업의 일환으로서 한중일관광장관회담을 매년 여름에 교대로 개최한다. 3 국의 관광당국은 정기적으로 개최되는 ASEAN+3 관광장관 회담에서 한중일관광장관회담의 준비를 위한 협의를 실시한다.

2006 년 7 월 2 일, 일본 홋카이도 쿠시로시 아칸정에서 한국어, 중국어, 일본어로 조인된 문서 각 1 부에 서명했다.

대한민국 문화관광부장관 김명곤
중화인민공화국 국가여유국장 샹오 치웨이
일본국 국토교통대신·관광입국담당대신 기타가와 가즈오